

盲ろう者

ふく だ あ き こ

福田曉子氏講演会

日時: 令和7年2月1日(土) 13時30分～16時30分

開場: 13時

会場: 中山記念会館 1階 大会議室 (神戸市兵庫区水木通2丁目1-9)

講師: 福田曉子氏

講師プロフィール

1977年生まれ、東京在住の盲ろう者。世界盲ろう者連盟前事務局長、全国盲ろう者協会評議員、内閣府障害者政策委員会委員、立教大学兼任講師、東京女子大学非常勤講師、相談支援専門員

コミュニケーション方法は触手話、発信は音声。多発性硬化症のため人工呼吸器と電動車イスを使用。

講演テーマ: 「盲ろう者の自立生活」

内容 生き立ち、盲ろうの状況、日常生活、過去の活動、今後の展望、世界での活動等、お話いただきます。

参加費無料 ※手話通訳・要約筆記が付きます。

※会場ではマスク着用をお願いします。社会状況により中止もあります。

※午前7時、阪神地域に警報発令の時は中止

問合せ、申し込み先:

兵庫盲ろう者友の会事務局 TEL/FAX(078)579-7600 e-mail db-kobe@nifty.com

..... 参加申込書 (切り取らずにそのまま FAX してください)

◇氏名

◇所属

◇連絡先

◇障害の有無 (配慮が必要な場合はお書きください)

・障害なし ・盲ろう ・全ろう ・難聴 ・全盲 ・弱視 ・その他()

兵庫盲ろう者友の会について

盲ろう者とは

視覚と聴覚の両方に障害を持つ人をいいます。令和5年兵庫県盲ろう者実態調査によると兵庫県内に501人いることがわかりました。その中で、令和6年4月現在盲ろう者向け通訳・介助員派遣制度を利用している盲ろう者は93名、多くの盲ろう者が家にひきこもり、家族とのコミュニケーションがないまま暮らしていると思われます。

ひょうご盲ろう者支援センター

目と耳に重複の障害を持つ盲ろう者は、1人で外出することが困難で、自分で情報を得ることも困難です。ひょうご盲ろう者支援センターは、同じ障害の仲間が存在を知ってもらい、希望を持って生活することをサポートしていきます。

盲ろう者のコミュニケーション

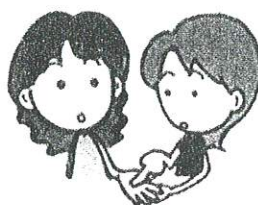
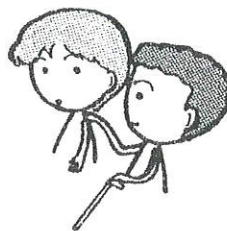
視覚・聴覚の障害の程度などによって、様々なコミュニケーション方法(手書き文字、触手話、弱視手話、点字、指点字、ブレイルセンス、PC 通訳、音声通訳等)があります。しかし、これらのコミュニケーション方法は自然に身につけることはできません。盲ろう者自身の努力、周囲の協力が必要です。多くの盲ろう者は、コミュニケーションがないまま生活しています。

支援センターでは、盲ろう者がコミュニケーション方法を身につけるための支援、訓練を行います。また、福祉事務所や公的機関及び医療や日常生活で必要な場合の通訳・介助員派遣、同行援護事業によるヘルパー派遣を行っています。

ガイドヘルプ



指点字



手のひら書き